

【表1】学歴・年齢・職種別平均賃金

(単位：円)

学歴	職種	全体平均	総務・企画広報	営業・販売	製造・技術	一般事務・その他
	年齢					
大学・大学院卒	24歳以下	200,323	206,237	201,368	202,157	194,747
	25歳～30歳	221,321	211,171	229,942	224,541	207,027
	31歳～35歳	262,215	298,544	276,079	259,226	240,067
	36歳～40歳	297,250	294,070	318,685	300,435	269,918
	41歳～45歳	330,129	309,338	350,740	326,286	313,216
	46歳～50歳	366,514	400,694	400,325	354,994	331,200
	51歳～55歳	384,520	458,850	396,862	380,766	343,802
	56歳～60歳	394,568	391,927	418,074	387,943	356,505
短大・専門学校卒	24歳以下	181,787	189,260	182,433	187,511	173,563
	25歳～30歳	206,547	205,817	211,501	214,473	195,339
	31歳～35歳	232,534	227,189	236,329	238,599	224,696
	36歳～40歳	256,097	223,612	294,826	272,954	217,810
	41歳～45歳	277,475	281,652	312,693	305,084	229,778
	46歳～50歳	302,612	305,420	320,904	322,488	267,266
	51歳～55歳	296,724	332,634	312,523	322,159	249,679
	56歳～60歳	309,057	340,403	402,401	326,761	255,254
高校卒	24歳以下	182,221	171,973	189,153	185,071	171,875
	25歳～30歳	212,310	188,667	224,832	216,978	194,747
	31歳～35歳	234,801	219,493	236,988	243,164	216,129
	36歳～40歳	258,191	247,745	276,808	266,328	227,511
	41歳～45歳	273,355	259,714	302,429	279,450	245,206
	46歳～50歳	289,693	335,236	323,121	297,943	249,521
	51歳～55歳	295,971	330,554	351,395	300,233	256,965
	56歳～60歳	280,026	307,365	330,557	281,145	245,281

「卸売業」「運輸業」であった。  
従業員規模が大きい程  
平均賃金が上昇  
従業員規模別に比較すると、「大学・大学院卒」では、従業員規模が大きくなる程、平均賃金が全体平均を上回る傾向となった。その一方で、「短大・専門学校

卒」「高校卒」では、従業員規模に関わらず、賃金が全体平均とほぼ同程度となっており、従業員規模による差が生じていなかった。  
【採用形態別比較】  
中途採用者の即戦力効果、賃金に反映  
新規学卒者と中途採用者にわけ

て比較したところ、表2の通りとなった。入社当初は即戦力となり得る中途採用者の賃金が高い傾向にあるが、勤続年数を経る毎にその差は徐々に小さくなり、中でも「大学・大学院卒」と「短大・専門学校卒」においては、勤続20年を越えると逆転する結果となった。

【表2】学歴・勤続年数・採用形態別平均賃金

(単位：円)

勤続年数	大学・大学院卒		短大・専門学校卒		高校卒	
	新規学卒者	中途採用者	新規学卒者	中途採用者	新規学卒者	中途採用者
5年以下	212,757	257,813	185,437	219,968	178,418	222,174
6年～10年	252,138	293,929	226,196	242,315	209,328	250,241
11年～15年	306,046	324,737	264,676	264,395	249,909	272,121
16年～20年	340,877	349,107	275,125	302,820	263,899	291,026
21年～25年	404,971	400,391	327,565	319,241	295,103	310,187
26年～30年	444,889	411,891	353,689	303,391	314,365	318,580
31年～35年	438,628	403,951	402,312	367,267	360,134	325,397
36年～40年	417,021	-	395,570	337,833	352,961	348,757
41年以上	-	-	-	-	313,451	399,867

※集計対象者がいない項目やサンプル数が少なかったため集計ができなかった項目には「－」を表記。

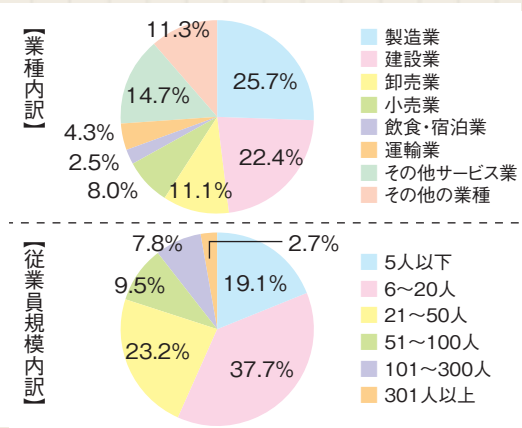
詳細の調査結果については、左記までお問い合わせ下さい。

【お問い合わせ先】  
福井商工会議所経営支援・人材育成課  
TEL 0776(33)8283

# 調査レポート Part.1

## Report

## 平成30年度 福井県賃金実態調査 ～第1回 福井県実在勤労者賃金（月額）～



○期間  
平成30年8月13日(月)～9月28日(金)

○方法  
調査票の郵送による照会

○対象  
福井県下3,000社の民間企業を無作為抽出

○回収数  
848社(回収率 28.3%)

【調査目的】  
福井県内企業に従事する労働者の賃金実態及び学歴別・年齢別による賃金格差の構造等を分析し、今後の賃金資料や労使の労働条件検討の際の参考とする。

【調査概要】

平成30年度福井県実在勤労者平均賃金の調査結果は表1の通りである。全ての学歴・職種において、年齢を重ねる程、賃金は高くなる傾向となった。また、前回(平成28年度)調査時よりも、ほぼ全ての年齢において、平均賃金(全体平均)が増加しており、中でも「高校卒」の平均賃金は、各年齢間において約4～9%程増加していた。しかし、全国平均値と比較すると、ほとんどの年齢において、県内賃金が下回る結果となった。

【実在勤労者平均賃金とは】  
平成30年4月～6月の3ヶ月間継続して勤務する常用労働者を対象に、平成30年7月の「所定労働時間内給与(月額)」より算出したもの

※1 役職手当・扶養手当・住宅手当・通勤手当・勤務地手当 等

※2 時間外手当・休日出勤手当・賞与手当 等

※3 賞与手当、住宅手当は、実費支給を行っている場合は所定労働時間内給与には入らない。

※4 基本給 + 各種手当 + 所定労働時間内給与に入らない手当

【営業・販売】の賃金が高い傾向に  
職種別に比較すると、全ての学歴・年齢において、各自の業務成績が分かりやすく、評価も容易であるためか、「営業・販売」の賃金が全体平均を上回る結果となった。

賃金上昇率については、「大学・大学院卒」が全体的に高い傾向にあるものの、「短大・専門学校卒」の「営業・販売」の賃金上昇率が最も高い結果となった。職種別に比較すると、全ての学歴において、「総務・企画広報」「営業・販売」の賃金上昇率が高い傾向にある。

全学歴間で「建設業」の賃金が全体値をほぼ上回る

業種別に比較すると、全ての学歴間において、「建設業」の賃金が全体平均をほぼ上回る結果となった。なお、「建設業」に次いで賃金が高かった業種は、「大学・大学院卒」では「製造業」、「短大・専門学校卒」では「その他サービス業」、「高校卒」では「卸売業」であった。